

## 一般部門／彫塑系

### 審査評

今年度の一般部門 彫塑系には、20代から70代までの幅広い年齢層から応募があり、WEB開催の美術展ならではの、大型作品から手のひらサイズまで様々な素材を活用した多様多彩な表現方法が見られた。

その中で特選作品に下記の3点を選出した。

「時の旅人Ⅲ」は、女性像の頭髪の端の部分を粗く残しながら、顔の部分との対比を強調している。顔のフォルムの捉え方も魅力的で、しっかりした造形力を感じさせる作品である。

「Deep down inside」はWEBだからこそ出てきたインスタレーション的作品である。植物のオブジェと人物とを組み合わせた独特の作品は、不思議でダイナミックな空間を生み出している。

「花嫁—角隠し—」は、白い石膏と抽象化により「神聖さ」を表現しようとした面白さを感じた。心棒とのバランス等をもう一考すると更に魅力ある作品になると思う。

受賞を逃した中にも精力的にチャレンジしたものが数点あったが、造形力に加え作品がどんな魅力を生み出しているのか等、見せ方で差が出たように感じている。

(比治山大学短期大学部美術科 名誉教授 奥田 秀樹)